

- 1 教育事業名 「NEALリーダー養成事業」
- 2 ね ら い 自然の中で感性を磨き、専門的な知識と技術を持って自然体験活動の普及や振興に貢献する自然体験活動指導者（NEALリーダー）を養成する。
- 3 期 日 令和6年1月6日（土）～1月8日（月） 2泊3日
- 4 場 所 国立沖縄青少年交流の家
- 5 募集定員 30名程度
- 6 参加人数 12名
- 7 参加者内訳 高校生2名 社会人10名
- 8 講 師 與儀 滝太 氏（国立青少年教育振興機構本部 子どもゆめ基金部助成係） ※主任講師  
井上 桂 氏（下関深坂自然の森 森の家下関 所長）  
星原 貴保 氏（一般社団法人 沖縄県美ら海教育学校 代表理事）
- 9 実施プログラム

|            |                                     |                    |       |            |       |            |           |                    |       |                    |       |             |       |                    |    |     |      |
|------------|-------------------------------------|--------------------|-------|------------|-------|------------|-----------|--------------------|-------|--------------------|-------|-------------|-------|--------------------|----|-----|------|
| 1/6<br>(土) | 潮汐:長潮 満潮14:14(167cm) 干潮7:53(95cm)   |                    |       |            |       |            |           |                    |       |                    |       |             |       |                    |    |     |      |
|            | 10:00                               |                    | 12:00 |            | 13:00 | 14:30      |           | 16:30              |       | 19:00              | 20:00 | 21:30       |       |                    |    |     |      |
|            | フェリー                                |                    | 移動    | 開講式        | 昼食    | ガイダンス      | テント設置     | 自然体験活動の技術③<br>海洋研修 |       | 自然体験活動の技術①<br>野外炊事 |       | 入浴          | 情報交換会 | 就寝準備               |    |     |      |
| 1/7<br>(日) | 潮汐:若潮 満潮15:11(173cm) 干潮9:02(102cm)  |                    |       |            |       |            |           |                    |       |                    |       |             |       |                    |    |     |      |
|            | 7:30                                |                    | 9:00  |            | 10:30 |            | 12:00     |                    | 13:00 | 15:00              |       | 18:00       |       | 20:30              |    |     |      |
|            |                                     | 自然体験活動の技術②<br>野外炊事 |       | 自然体験活動の特質① |       | 自然体験活動の特質② |           | 昼食                 |       | 青少年教育における体験活動      |       | 自然体験活動の安全管理 |       | 自然体験活動の技術④<br>野外炊事 |    | 片付け | 入浴   |
| 1/8<br>(月) | 潮汐:中潮 満潮16:07(180cm) 干潮10:13(105cm) |                    |       |            |       |            |           |                    |       |                    |       |             |       |                    |    |     |      |
|            | 7:00                                |                    | 9:00  |            | 10:30 |            | 12:00     |                    | 13:30 |                    | 15:30 |             | 16:40 |                    |    |     |      |
|            |                                     | 底上げ                | 朝食    | 撤収         | 対象者理解 |            | 自然体験活動の指導 |                    | 昼食    |                    | ガイダンス | 試験          | 閉講式   | 記念撮影               | 移動 |     | フェリー |

10 事業の様子



ガイダンス



アイスブレイク



テント設営



スノーケリング講習



野外炊事



情報交換会



自然体験活動の特質



島内散策



青少年教育における体験活動



自然体験活動の安全管理



対象者理解



自然体験活動の指導

## 11 参加者の声（アンケートより）

- ・似た職種の方々と意見交換もでき、大変ありがたい時間となりました。
- ・渡嘉敷の貝がらを使っのアイスブレイクはつどいに是非とりいれたいです。（ガイダンス）
- ・子どもたち自身にどうしたら危なくないか考えさせる手法を取り入れたいと思った。  
（青少年教育における体験活動）
- ・しっかりと「学ぶ」という機会がなかったので、自分自身の活動の整理にもなりました。  
（自然体験活動の特質）
- ・指導者目線で講義を受けることができ、今後の指導の仕方の参考になった。（スノーケリング）
- ・視野も広がり、今後の活動にも活かしていきます。ありがとうございました。（安全管理）
- ・様々なシチュエーションを具体的にトレーニングする必要性を感じた。（自然体験活動の指導）

## 12 担当者所見

### （1）成果

- ・様々な年齢層、経験値の差を持った参加者が講義や炊事等の活動を通して情報交換を行い、それぞれが刺激を受ける機会となった。
- ・本施設の職員も3名参加し、運営側、参加者側それぞれの視点で事業を企画・運営することができた。
- ・県外から與儀氏、井上氏を招聘したことで、新しい取り組みや視点を持つきっかけ、つながりを作ることができた。
- ・悪天候により、日程、プログラムの変更をせざるを得ない状況となったが、自然体験指導者の養成事業としてはこのような状況も経験ととらえながら進行することができた。
- ・カリキュラムにより講義の時間を多く設定したが、各講義活動的な内容が多く、参加しやすかったという声が多く聞かれた。
- ・同業種の参加者から、各プログラムの別案や取り組み方について学ぶことのできる機会となった。

### （2）課題

- ・活動中の会話や交流会の中で、NEALリーダー、インストラクターの講習の開催を次年度も希望する声が聞かれた。次年度は、講習の予定はないため、検討が必要である。
- ・今回は、県外から與儀氏、井上氏を招聘したが予算面では厳しい状況にある。また、本施設職員に主任講師の資格を保持する職員がいない。また、県内でも主任講師の資格を持つ方も少ないため、次回開催の際には、主任講師、講師の選定が課題である。
- ・NEALの養成事業に限らず、県内外の青少年教育施設との交流の機会、場の設定を設けることでプログラムの充実、開発、発展につながることを予想される。